

# さいたま市立大谷場中学校 各教科の内容と評価観点 [ 技術・家庭 (家庭分野) ]

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康的で自主的な生活を送るために自ら課題をもって意欲的に学習する態度を身につける。</li> <li>○生活の向上と自分の技術の向上のために工夫する力や創造する力を身につける。</li> <li>○情報や技術を習得し、それを活用する力を身につける。</li> <li>○安全に気をつけて学習する力を身につける。</li> </ul>
-------	--

1 年	項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	観点	課題解決のために 身につけたい知識・技能	自ら思考判断し工夫し 表現しようとする力	授業で身につけた基礎的な知識・技能を活用した 問題解決の工夫
	評価の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の課題に関する基礎的、基本的な技能や技術の習得</li> <li>・生活に関する事柄や技能などについての基礎的な知識の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな解決方法の探求</li> <li>・問題解決における自己の創意工夫ある取り組みやその過程表現</li> <li>・基礎的基本的な知識や技能、情報を活用、応用する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの学習を調整しようとしているか粘り強く学習しようとする態度</li> <li>・工夫した課題設定や習得した知識や技能を活用した問題解決に向けた思考力・判断力・表現力をつかった積極的な取り組み</li> </ul>

	単元・教材・題材 等	学習目標・学習内容・学習活動 等	評価の方法
1 学期	1、自立を目指して学ぼう <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長と家族</li> <li>・家庭のはたらき</li> </ul> 2、住生活と自立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいのはたらき</li> <li>・健康で安全な住まい</li> <li>・住まいの手入れと環境整備 (掃除の計画と実践)</li> </ul> 3、衣生活と自立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に役立つ衣生活の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族との生活の中にそれぞれの立場や関係を見つめ、毎日の生活を、よりよく快適にする方法を考え実践することができる。</li> <li>○役割や支えあうことの意味を考え、自ら工夫する能力を養うとともに、生活の技能を高めることができるようにする。</li> <li>○布地の取り扱い方法を知り、それに応じた洗濯方法や手入れの方法を知り、管理や手入れの方法を選択することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業観察 (発表、発言、質問の内容)</li> <li>○ノートの作り方の工夫</li> <li>○家庭での宿題、実践レポートの内容</li> <li>○学習記録表への取り組み</li> <li>○定期テスト</li> </ul>

2 学 期	3、衣生活と自立 ・生活に役立つ小物の製作  ・衣生活・実践レポート 計画と実践	○被服材料や裁縫道具の名称や扱い方を理解し、それを活用し、工夫してものづくりを行うことができる。  ○学習したことを家庭で生かすことができる	○作品の完成と提出 ○創意工夫ある製作 ○材料や道具を上手に活用する製作技能 ○家庭で行う実践課題レポートの内容 ○学習記録表への取り組み ○定期テスト
3 学 期	食生活の自立に向けて ・健康と食生活 ・栄養のはたらき	○自分の食生活を振り返り、青少年期の健康で成長のために必要な栄養や食事の仕方を学び、理解する。毎日の食生活をよりよく快適なものに整えたり、選択して食べることの意味を考え、自ら工夫する能力を養うとともに、調理の技能を高めることができるようにする。	○課題への意欲的な取り組み ○授業観察 (発表、発言、質問の内容) ○ノートの作り方の工夫

2 年	項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	観点	課題解決のために身につけたい知識・技能	自ら思考判断し工夫し 表現しようとする力	授業で身につけた基礎的な知識・技能を活用した問題解決の工夫
	評価の重点	・生活の課題に関する基礎的、基本的な技能や技術の習得 ・生活に関する事柄や技能などについての基本的な知識の習得	・いろいろな解決方法の探求 ・問題解決における自己の創意工夫ある取り組みやその過程表現 ・基礎的基本的な知識や技能、情報を活用、応用する力	・自らの学習を調整しようとしているか粘り強く学習しようとする態度 ・工夫した課題設定や習得した知識や技能を活用した問題解決に向けた思考力・判断力・表現力をつかった積極的な取り組み

	単元・教材・題材 等	学習目標・学習内容・学習活動 等	評価の方法
1 学 期	1、食生活と自立 ・健康と食生活 2、栄養のはたらき ・食品の概量と食品群別摂取量の目安 3、食品の選択と保存 ・生鮮食品と加工食品	○自分の食生活を振り返り、青少年期の健康で成長のために必要な栄養や食事の仕方を学び、理解する。毎日の食生活をよりよく快適なものに整えたり、選択して食べることの意味を考え、自ら工夫する能力を養うとともに、調理の技能を高めることができるようにする。	○授業観察 (発表、発言、質問の内容) ○ノートの作り方の工夫 ○家庭での宿題、実践レポートの内容 ○学習記録表への取り組み ○定期テスト

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の表示</li> <li>・献立の作成</li> </ul>	<p>○栄養のバランスを考えた料理の組み合わせを考えることができる。</p>	<p>○献立の作品</p>
2 学 期	<p>4、調理をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理の流れと道具に慣れよう (包丁と計量、調理の基本)</li> <li>・野菜料理と付け合わせ・汁物等</li> <li>・肉料理と付け合わせ・汁物等</li> <li>・魚料理と付け合わせ・汁物等</li> </ul> <p>5、家庭での調理の計画と実践</p>	<p>○調理の流れを理解し、調理の技能を習得する。</p> <p>○食品の特性を理解し、無駄なくおいしく調理する技能を身につける。</p> <p>○周囲の人と協力し、調理の準備、調理、配膳を整え、食事をすることができる。</p> <p>○調理道具や器具を安全に活用することができる。</p> <p>○習得した調理の技能を生かし、家庭で実践することができる。</p>	<p>○調理の身支度と持ち物</p> <p>○調理の技能</p> <p>○グループでの活動の創意工夫</p> <p>○家庭での調理実習実践レポートの内容</p> <p>○学習記録表への取り組み</p> <p>○定期テスト</p>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での実践レポートの発表</li> </ul> <p>6、日本の郷土料理と行事食</p> <p>7、身近な消費生活と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の選択と購入</li> <li>・よりよい消費生活のために</li> <li>・環境や防災に配慮した消費生活(防災)</li> <li>・持続可能な衣生活と住生活</li> </ul> <p>8、日本の伝統を受け継ごう</p> <p>日本文化と着物</p> <p>浴衣を着こなそう</p>	<p>○生徒の発表を通して、それぞれの実践例を知り、共有化することができる。</p> <p>○地域ごとの食文化や行事食の役割を理解し、場や季節に応じた食事の選択や調理の選択ができるようにする。</p> <p>○環境や防災に配慮した生活の工夫をすることができる(防災)</p> <p>○消費生活の意味と機能や仕組みについて理解し、賢くより快適な生活を送るために商品やサービスを選択することができる。</p> <p>○衣服の役割を理解し、場に応じた衣服の選択や着衣ができるようにする</p> <p>○日本の伝統的な文化について理解し、継承の仕方を考えることができる</p>	<p>○家庭での調理実習実践レポート</p> <p>○郷土料理調べレポート</p> <p>○課題への意欲的な取り組み</p> <p>○個性に応じた衣服の選択や着装の工夫</p> <p>○日本の伝統文化に対する知識や理解</p> <p>○学習記録表への取り組み</p> <p>○定期テスト</p>

3 年	項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	観点	課題解決のために 身につけたい知識・技能	自ら思考判断し工夫し 表現しようとする力	授業で身につけた基礎的な知識・技能を活用した問題解決の工夫
	評価の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の課題に関する基礎的、基本的な技能や技術の習得</li> <li>生活に関する事柄や技能などについての基礎的な知識の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな解決方法の探求</li> <li>問題解決における自己の創意工夫ある取り組みやその過程表現</li> <li>基礎的基本的な知識や技能、情報を活用、応用する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの学習を調整しようとしているか粘り強く学習しようとする態度</li> <li>工夫した課題設定や習得した知識や技能を活用した問題解決に向けた思考力・判断力・表現力をつかった積極的な取り組み</li> </ul>

	単元・教材・題材 等	学習目標・学習内容・学習活動 等	評価の方法
1 学期	1、小学生になるまでの <ul style="list-style-type: none"> <li>成長記録をまとめよう！</li> </ul> 2、幼児の心身の発達の特徴  3、幼児と遊び	<input type="checkbox"/> 家族との生活の中にそれぞれの立場や関係を見だし、毎日の生活を、よりよく快適にしたり、役割や支えあうことの意味を考え、自ら工夫する能力を養うとともに、生活の技能を高めることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 幼児の心身の発達や特徴について知り、理解することができる。 <input type="checkbox"/> 幼児の成長に応じたおもちゃの製作ができる	<input type="checkbox"/> 授業観察 (発表、発言、質問の内容) <input type="checkbox"/> 学習プリント <input type="checkbox"/> 家庭での宿題、実践レポートの内容 <input type="checkbox"/> 学習記録表への取り組み <input type="checkbox"/> 定期テスト
2 学期	4、乳幼児と触れ合おう グループでふれあいの準備をしよう！ 5、赤ちゃん・幼児ふれあい体験学習 (事前学習～ふれあい体験～事後学習) <ul style="list-style-type: none"> <li>観察まとめ+子供に関するレポート</li> </ul> 6、幼児の成長と家族・環境に関する問題 課題の発表と話し合い	<input type="checkbox"/> 幼児にとっての生活習慣・遊びの意義を知り、年齢や個性に応じた遊びの種類や特徴を知り、選択することができる。 <input type="checkbox"/> 幼児の年齢ごとの心身の特徴を理解し、幼児とのふれあい方を工夫して接することができる。 <input type="checkbox"/> 学習したことをレポート等でまとめることができる <input type="checkbox"/> 子供の成長に必要な生活環境や福祉・サービス等について知り、子供の権利や保育、保護施設等について理解することができる。	<input type="checkbox"/> 授業観察 (発表、発言、質問の内容) <input type="checkbox"/> 学習プリント <input type="checkbox"/> 子供に関するレポートの内容 <input type="checkbox"/> 学習記録表への取り組み <input type="checkbox"/> 定期テスト
3 学期	7、わたしたちと家族、 <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭、地域とつながろう</li> <li>これまでの学習を振り返り、これからの自分の生活について考える</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 自分の生活や家族について課題を見つけ、家族関係をよりよくするための方法について考え、工夫することができる	<input type="checkbox"/> 授業観察 (発表・発言・学習活動等) <input type="checkbox"/> 学習プリント <input type="checkbox"/> 学習記録表への取り組み

